

目 次

はしがき

第1章 時制表現と時とのずれ	1
第2章 時制の一致	10
第3章 時制の一致の例外	18
3.1. 独立読みの現象	18
3.2. de re 読みについて	33
3.3. 真偽値が未定の場合	40
第4章 完了形の場合に見られる時制の一致の現象	44
4.1. 従属節内の完了形と主節内の完了形	44
4.2. 完了形と過去を表す副詞的表現	55
第5章 時制の一致を正しく理解するための学習ストラテジー	57
第6章 時制の一致と「状態動詞」	69

第7章	副詞節に見られる時制の一致の特徴	75
第8章	時制の一致と「心的惰性」	81
第9章	仮定法の伝播	88
第10章	関係節と補文に見られる違い	112
10.1.	二重アクセス読みと独立読み	112
10.2.	独立読みが許されない場合	143
第11章	名詞表現に見られる時制の一致	158
第12章	Higginbotham (2009) による時制の一致のシステム	162
第13章	動詞の持つ意味特徴とのかかわり	165
13.1.	発話動詞と叙実的動詞	165
13.2.	動詞の持つ「意図性の力」の違い	172
第14章	時制の一致の作用方向	175
第15章	まとめ	187

参考文献	189
索引	199